

令和5年度兵庫支部総会報告

兵庫支部長 清水敏幸(機械 49)

令和5年11月26日(日)に、4年振りの面での兵庫支部総会を開催しました。従来は総会に先立ち、県内各地の散策を行ってきましたが、コロナ後の今回は、参加者数の予測が立たないこと、未だ人混みは避けたいことなどで中止としました。また、本部からの派遣も、同様の理由で辞退させて頂きましたが、大学の現状を生で支部員に伝えられなかったのは残念でしたし、本部の皆様にもご迷惑をお掛けしました。

さて、支部総会は神戸の繁華街の三宮にあるビアホール「ニューミュンヘン神戸大使館」で、午後2時から2時間の予定で行いました。参加者は9名と従来の半数以下で寂しいものとなりましたが、それでも良く参加して頂いたものと感謝しています。まず各自好みのビールで乾杯した後、支部長より、本年6月の新潟での工学部主催の100周年記念式典及び7月の長岡での悠久会全国総会の概要を、頂いた資料を基にお話ししましたが、今回の参加者全員が長岡出身で占められていて、五十嵐地区の現況については興味深々なものの、やはり話題はどうしても長岡時代のこととなり盛り上がりますが、早く五十嵐出身者も増えてもらいたいものです。その後は飲み放題のビールも手伝って、各自の現況に盛り上がり、盛況の内に、来年の支部総会への参加を確約してもらいながら散会となりました。支部長交代の議題も予定していましたが、若手の参加がありませんので、今回は断念しました。このままでは支部存続の危機ともなりますので、若手の奮起をお願いします。また、若手の中には、連絡先がご実家のままとなっておられる方も多数見受けられますので、是非現住所のご連絡をお待ちします。

最後となりましたが、いつも参加して頂いていた、昭和20年、精密工学科卒業の櫻井先輩が支部総会当日の11月26日にお亡くなりになられたそうで、ご冥福をお祈り申し上げます。なお、いつも一緒に参加されていた同期の古林先輩は、今回は所用で不参加でしたが、来年のご参加をお待ちしています。

以上

